

第12回 「今でしょ！」が残したもの

「源氏物語を読破しよう♪」「◎◎旅行のためにカネを貯めよう☆」などなど、いつかやろうと思いつつ、ずっと先延ばしにしてきたことはございませんか？

「いつやるか？ 今でしょ！」が流行語になってほぼ3年。そのこと自体は人の記憶から薄れてきているかもしれませんが、長い目で見ると、大きな教訓を残したように思えます。テレビCMで流されたこの言葉は、受験といったタイムリミットが明確なものであっても、その対策を先送りし、いつの間にか試験日を迎えてしまう受験生が実は多いことを、暗に示唆しているのではないのでしょうか。

入試などとっくに終えた大人である筆者も、過去のある時点で始めていれば実現出来ていたであろうことを、ずるずると延ばしてしまった記憶を、想起されてしまいます。

さて、「工賃向上計画」には、工賃向上を実現するための具体策を色々と記載されたはずですが、それらをどれだけ着手できたのでしょうか？ 役所に出すため仕方なく書いただけで本当にやる気がなかった事業所さんは少ないと思いますが、一方、書いたことをしっかり実行している事業所さんもまた、少ないのではないのでしょうか。以前も書きましたが、みんな日常業務で忙しいので、年間計画とか、3年計画とかに書かれているだけのことまで手が回らないのです（×_×）。

では、どうすれば実行できるのでしょうか。このメルマガを読み終わった瞬間を、「今でしょ！」の「今」にするしかありません。

自分だけで出来ることなら今すぐ着手し（それが無理なら、何をいつ開始するかを具体的に決めて記述し）、組織で行うものなら今すぐ起案したり、会議での提起の仕方を考え始めましょう。それ以外、ありません。日常業務に戻れば、メルマガを読んだことさえ、すぐに忘れてしまいますから・・・(>_<)。